

2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月12日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク
 コード番号 7614
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 竜太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理部長 (氏名) 木田橋 友 TEL 03 (5405) 9541
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第3四半期の連結業績 (2025年2月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	25,900	8.7	806	△19.5	996	△14.6	619	△18.6
2025年1月期第3四半期	23,831	1.3	1,002	△22.0	1,166	△11.0	760	△17.2

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 652百万円 (△15.3%) 2025年1月期第3四半期 770百万円 (△10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第3四半期	93.07	—
2025年1月期第3四半期	113.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年1月期第3四半期	22,773	17,666	77.6	2,652.94
2025年1月期	22,062	17,237	78.1	2,589.30

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 17,666百万円 2025年1月期 17,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年1月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 34.00	円 銭 34.00
2026年1月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 34.00	円 銭 34.00
2026年1月期(予想)				34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年1月期の連結業績予想 (2025年2月1日～2026年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	8.3	1,480	0.4	1,580	△5.7	910	△17.2	136.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 — (社名) —、除外 一社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期 3 Q	7,335,634株	2025年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2026年1月期 3 Q	676,394株	2025年1月期	678,430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年1月期 3 Q	6,658,336株	2025年1月期 3 Q	6,714,032株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、賃上げの動きの広がり等により、雇用・所得環境の改善に加え、訪日外国人客の消費拡大等により、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、物価高による消費マイナスの下振れなどにより、先行きの極めて不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であるものの、記録的な猛暑が続いたことで肉の消費にも影響がみられ、消費者の節約志向の中、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、原料相場の高騰、物流費の増加等により、厳しい状況が続いております。

このような中で当社グループは、売上増大のための販売促進活動に全社一丸となって取り組むとともに、お客様満足度の向上や安心・安全な商品を提供できる体制強化、品質管理の徹底などの諸施策の実施に努めてまいりました。食肉等の小売業においては、不採算店閉鎖を実施するとともに、新規ディベロッパーとの取組みを含めた出店や改装店の立ち上げを進めてまいりました。また新商品の開発も図り、魅力ある商品や売り場の構築等を実施してまいりました。

外食業にあっては、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与しているものの、国産米をはじめとする原材料価格やエネルギー価格の上昇を受け、メニュー改定を実施するなどの施策を行っており、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様に安全に安心してご利用いただけるよう日々の店舗運営維持に努めてまいります。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は259億円（前年同期比8.7%増）、営業利益は8億6百万円（同19.5%減）、経常利益は9億96百万円（同14.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億19百万円（同18.6%減）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間の開店は3店、閉店は6店であり、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は145店になりました。内訳は食肉小売店134店（前期末比4店減少）、惣菜小売店11店（同1店増加）であります。当セグメントを取り巻く環境は上述の通りで、売上高は前年同期では損益取込していないオオタ総合食品（株）の影響もあり180億65百万円（前年同期比3.8%増）としたものの、原料相場の高騰等の影響を受け営業利益は7億7百万円（同21.0%減）となりました。尚、本事業を管轄する子会社3社の当第3四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーミート	2025年2月1日～2025年10月31日
(株)マルチョウ神戸屋	2024年11月1日～2025年7月31日
オオタ総合食品（株）	2024年12月1日～2025年8月31日

「外食業」

当第3四半期連結累計期間の閉店は2店であり、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は47店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、売上高はインバウンドや大型パーティー需要が寄与した他、前年同期では損益取込していない（株）雄和の影響もあり売上高は78億34百万円（前年同期比22.0%増）としたものの、原料相場やエネルギー価格、人件費の上昇等の影響を受け営業利益は3億52百万円（同5.0%減）となりました。尚、本事業を管轄する子会社3社の当第3四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーダイニング（ステーキレストラン事業）	2024年12月1日～2025年8月31日
（株）焼肉の牛太（焼肉・しゃぶしゃぶ事業）	2025年1月1日～2025年9月30日
（株）雄和（焼肉事業）	2025年1月1日～2025年8月31日

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及び前連結会計年度末比は以下の通りであります。

流動資産	135億23百万円（前期末比+5.4%）
固定資産	92億50百万円（同+0.2%）
総資産	227億73百万円（同+3.2%）
流動負債	35億25百万円（同+1.2%）
固定負債	15億81百万円（同+18.0%）
純資産	176億66百万円（同+2.5%）
負債・純資産合計	227億73百万円（同+3.2%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月期の連結業績予想につきましては、2025年3月14日に公表いたしました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,738,132	8,070,009
受取手形及び売掛金	613,345	544,731
テナント未収入金	1,402,568	1,318,098
有価証券	—	2,700,000
商品及び製品	579,643	544,812
原材料及び貯蔵品	43,138	43,492
未収入金	296,086	191,281
その他	160,725	113,494
貸倒引当金	△3,065	△2,896
流動資産合計	12,830,576	13,523,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,308,493	5,291,618
減価償却累計額	△3,063,348	△3,077,601
建物及び構築物（純額）	2,245,145	2,214,016
機械装置及び運搬具	620,528	612,080
減価償却累計額	△467,092	△469,125
機械装置及び運搬具（純額）	153,435	142,955
土地	1,895,572	1,895,572
その他	2,426,473	2,443,038
減価償却累計額	△2,044,835	△2,072,166
その他（純額）	381,637	370,872
減損損失累計額	△847,090	△831,177
有形固定資産合計	3,828,699	3,792,239
無形固定資産		
のれん	465,419	375,854
その他	91,114	105,136
無形固定資産合計	556,533	480,991
投資その他の資産		
投資有価証券	2,335,369	2,464,009
長期貸付金	10,060	9,537
繰延税金資産	169,373	188,964
退職給付に係る資産	206,340	213,997
敷金及び保証金	960,292	921,615
その他	1,165,377	1,179,536
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,846,811	4,977,656
固定資産合計	9,232,045	9,250,887
資産合計	22,062,622	22,773,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,069,988	2,028,616
1年内返済予定の長期借入金	100,000	188,938
未払金	393,167	331,445
未払法人税等	185,567	105,497
賞与引当金	86,080	180,437
その他	650,292	690,609
流動負債合計	3,485,095	3,525,545
固定負債		
長期借入金	407,134	674,110
役員退職慰労引当金	38,752	10,151
退職給付に係る負債	60,805	67,268
資産除去債務	289,703	288,921
その他	543,627	541,341
固定負債合計	1,340,021	1,581,794
負債合計	4,825,117	5,107,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,393,764	1,394,665
利益剰余金	16,014,924	16,408,255
自己株式	△702,991	△700,887
株主資本合計	17,172,397	17,568,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,332	70,178
退職給付に係る調整累計額	31,774	27,659
その他の包括利益累計額合計	65,106	97,837
純資産合計	17,237,504	17,666,570
負債純資産合計	22,062,622	22,773,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	23,831,658	25,900,637
売上原価	14,635,924	15,630,954
売上総利益	9,195,734	10,269,683
販売費及び一般管理費	8,193,468	9,462,823
営業利益	1,002,265	806,860
営業外収益		
受取利息	12,685	16,882
受取配当金	952	8,138
持分法による投資利益	115,188	95,903
家賃収入	331	1,435
協賛金収入	25,078	24,364
受取手数料	688	688
その他	12,104	50,664
営業外収益合計	167,028	198,076
営業外費用		
支払利息	130	6,766
その他	2,274	1,319
営業外費用合計	2,405	8,086
経常利益	1,166,888	996,850
特別利益		
有形固定資産売却益	4,585	821
特別利益合計	4,585	821
特別損失		
有形固定資産売却損	767	—
有形固定資産除却損	1,546	8,495
無形固定資産除却損	—	2,270
店舗閉鎖損失	831	1,930
投資有価証券売却損	—	3,000
減損損失	3,951	30,975
特別損失合計	7,096	46,670
税金等調整前四半期純利益	1,164,377	951,001
法人税、住民税及び事業税	374,540	346,932
法人税等調整額	28,895	△15,606
法人税等合計	403,436	331,325
四半期純利益	760,940	619,675
親会社株主に帰属する四半期純利益	760,940	619,675

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益	760,940	619,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	325	1,201
退職給付に係る調整額	△1,086	△861
持分法適用会社に対する持分相当額	10,000	32,390
その他の包括利益合計	9,239	32,730
四半期包括利益	770,180	652,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	770,180	652,406

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年2月1日 至2024年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	17,408,693	6,422,964	23,831,658	—	23,831,658
外部顧客への売上高	17,408,693	6,422,964	23,831,658	—	23,831,658
セグメント間の内部売上高又は 振替高	103,192	41,014	144,206	△144,206	—
計	17,511,885	6,463,978	23,975,864	△144,206	23,831,658
セグメント利益	895,208	371,276	1,266,485	△264,220	1,002,265

(注) 1. セグメント利益の調整額△264,220千円は、セグメント間取引消去△95,326千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△168,894千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」において、損益又はキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」3,951千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

第3四半期連結会計期間において、当社はオオタ総合食品㈱の株式を取得し、連結子会社としました。これに伴い、「食肉等の小売業」において、のれんの金額が251,198千円増加しています。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年2月1日至2025年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	18,065,686	7,834,951	25,900,637	—	25,900,637
外部顧客への売上高	18,065,686	7,834,951	25,900,637	—	25,900,637
セグメント間の内部売上高又は 振替高	86,076	38,454	124,530	△124,530	—
計	18,151,762	7,873,405	26,025,167	△124,530	25,900,637
セグメント利益	707,020	352,707	1,059,728	△252,868	806,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△252,868千円は、セグメント間取引消去△77,625千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,243千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」において、損益又はキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」30,975千円です。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次とおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	237,030千円	281,025千円
のれんの償却額	63,274	111,006